

「社会福祉法人 東京コロニー SDGsに関する取組の紹介」

社会福祉法人東京コロニー
コロニー東村山 所長 高橋 宏和

法人概要

社会福祉法人東京コロニー

設立年月:1951年10月

法人総人員数:911名(2024年3月31日現在)

※911名のうち623名が障害者

障害のある人の「完全参加と平等」を実現するため、平等性、企業性、民間性を事業理念に各種障害福祉サービス事業、公益事業等をつうじて、東京都内6区・6市の23ヶ所の事業拠点で幅広い事業活動を展開

「デジタル化作業のご紹介」



作業拠点のご紹介

社会福祉法人東京コロニー コロニー東村山
設立年月:1968年8月
事業所総人員数:138名(2024年3月31日現在)
う136名のうち73名が障害者

〒189-0001 東京都東村山市秋津町2-22-9
TEL:042-394-1111

A型利用者:8:50~17時30分
就労移行・B型利用者:9:30分から17時30分

印刷事業が事業の柱、**2021年にデジタル化事業**が始動

コロニー東村山の概要

2024年3月31日現在

障害福祉サービス事業多機能型 事業種別				定員 (現員)
就労移行支援事業				6名 (0)
就労継続支援事業 A型				15名 (14)
就労継続支援事業 B型				59名 (59)
身体障害者 19名	知的障害者 40名	精神障害者 14名	非障害者 63名	合計 136名

2019年度 印刷事業売上5億3千万円(税抜)

新型コロナウイルスの感染拡大による印刷事業の低迷
【利用者の手空き時間が増えてしまった】



2020年度 印刷事業売上4億5千万円(税抜)

急激な売り上げ減少に伴い新規授業の取り組みを一気に進める
必要性が急速に高まった。2017年から進められていた働き方改
革に伴うペーパレス化がコロナ禍で一気に加速した。

2021年度2月に障害者施設における電子化作業の就労種目化に係る検証実験を実施(日本財団委託事業)。

その後、日本財団の助成を受けて電子化に係る機器整備を進め、同年6月よりコロニー東村山においてデジタル事業を立ち上げる。

様々なシュミレーションを重ねて、同年9月より、国立国会図書館の蔵書の電子化業務について計37万コマ(予定数)を受託。

2022年3月22日に2,322冊、384,641コマ分を納品完了。

1. 工程管理システム(進捗管理)

2. Jpeg2000への変換ツール

※A型利用者が中心となって独自開発し、
現在も更に利用しやすいツールへと開発継続中

全国におけるデジタル化事業の立ち上げ

2022年6月に令和4年度国立国会図書館の蔵書の電子化業務について計約500万コマを日本財団より受託し、初の試みとなる全国8拠点で国立国会図書館の蔵書デジタル化作業を行い2023年3月17日に8拠点として5,047,788コマ(39,063冊)を納品完了。

コロニー東村山としては726,346コマを納品しつつ、全国の拠点に対して、スケジュール管理の手法、作業ノウハウの伝授、各種ソフトの無償配布及び研修期間3ヵ月を伴う教育を行い、先駆者としてリーダー的な役割を果たした。

2023年6月に令和5年度国立国会図書館の蔵書の電子化業務について計約140万コマを日本財団より受託し、2回目となる全国8拠点で国立国会図書館の蔵書デジタル化作業を行い2023年9月29日に8拠点として1,539,159コマ(12,362冊)を納品完了。

2023年10月に令和5 年度図書館資料(国内刊行児童書)の蔵書の電子化業務について計約140万コマを日本財団より受託し、3回目となる全国8拠点で国立国会図書館の蔵書デジタル化作業を進行しており、2024年3月に作業完了予定。

2024年6月に令和6 年度図書館資料(社会科学分野)の蔵書の電子化業務について計約200万コマを日本財団より受託し、東北3拠点と東京コロニーにおいてデジタル化作業を進行しており、2025年3月に作業完了予定。

2024年6月に令和6 年度図書館資料(国内刊行図書)の蔵書の電子化業務について計約287万コマを日本財団より受託し、九州4拠点においてデジタル化作業を進行しており、2025年3月に作業完了予定。

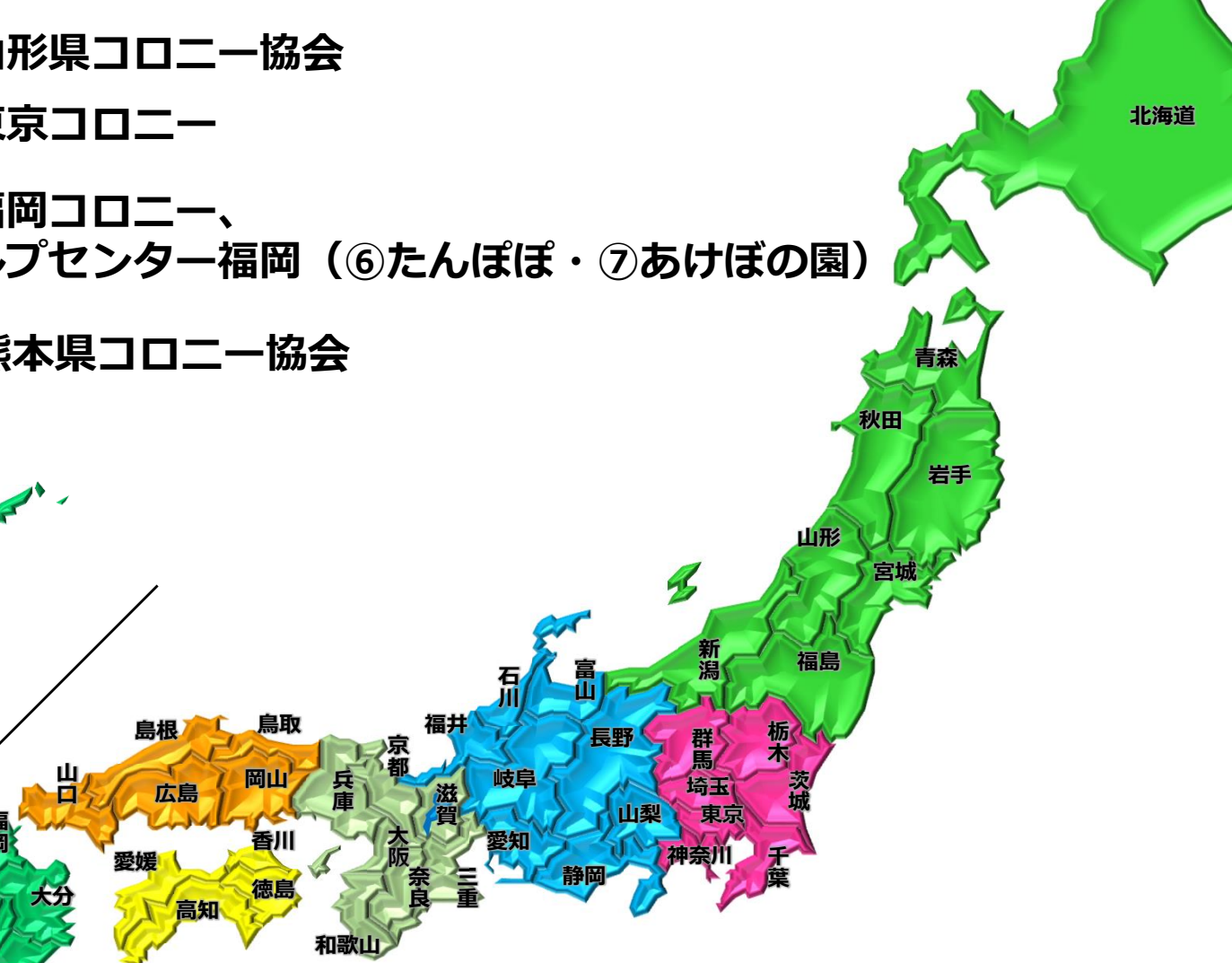
県：①宮城県障がい者福祉協会、②共生福祉会

県：③山形県コロニー協会

都：④東京コロニー

県：⑤福岡コロニー、
セルフセンター福岡（⑥たんぽぽ・⑦あけぼの園）

県：⑧熊本県コロニー協会



熊本県：⑧熊本県コ口二一協会

デジタル化作業の一例

日常の清掃



撮影画像(主に本の文字情報)に埃が写り込むのを防ぐ目的で、毎日作業場所の清掃を行う必要があり、清掃が行き届くことで作業効率が上がる。

B型利用者：4名 1回：150円
作業時間：30分程

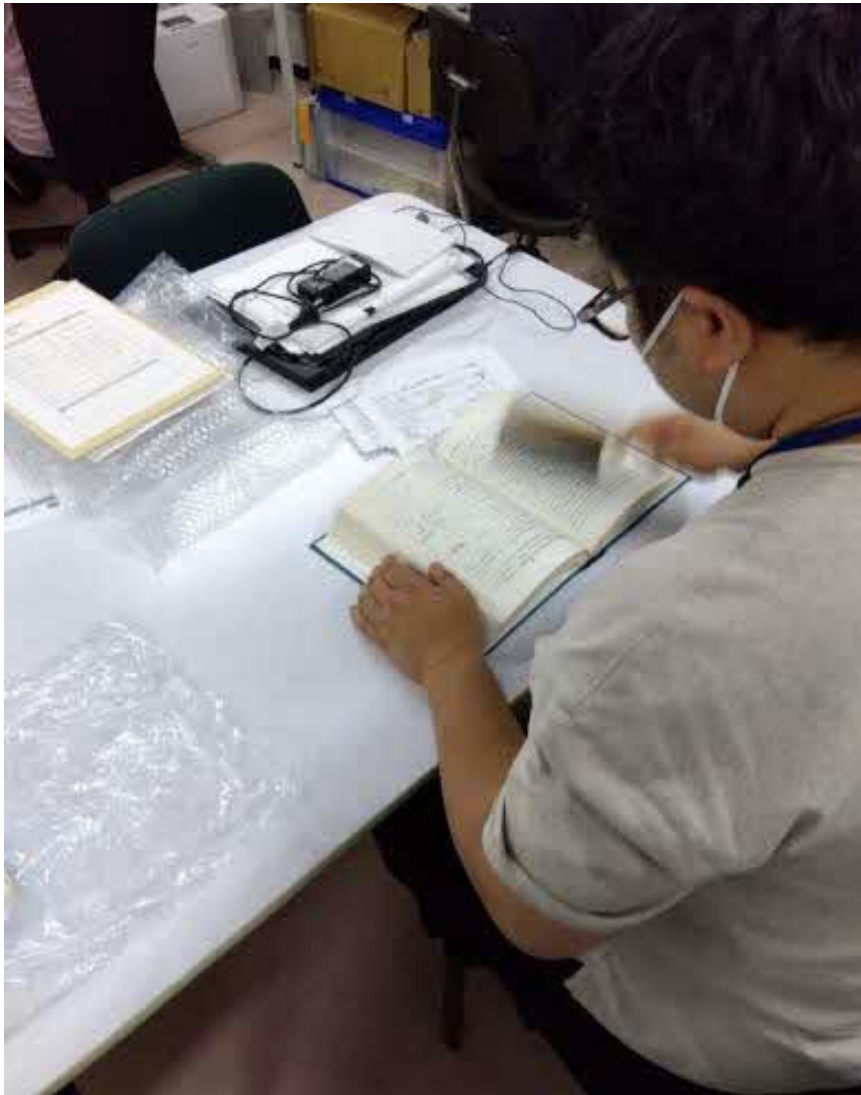
原資料の運搬利用者の実例



一日の作業開始前に必要数量を資料保管庫から搬出し、作業場所に運搬する必要がある。1箱に約25冊の本が収納されており、時には1箱の重さが25kgを超えることも。長期間の作業期間ではあるが、落下は絶対に許されない。

B型利用者：3名 1回：150円
作業時間：30分程

事前確認



本の状態を1ページずつ確認し、ステータスを記録して次工程に繋ぐ作業。書籍の状態を確かめると共に、堆積している埃を取り除く作業も大事な作業の一つ。

A型利用者：1名
A型利用者のため固定給
1回作業時間：460分

スキャンング



自動でスキャンングするのではなく、本を1ページずつ捲りながら丁寧黙々とスキャンングする作業。全作業の中で花形で人気が高い作業になる

A型利用者：3名
A型利用者のため固定給
1回作業時間：460分

B型作業者：10名 1コマ10円
1冊：100円、1回作業時間：210分

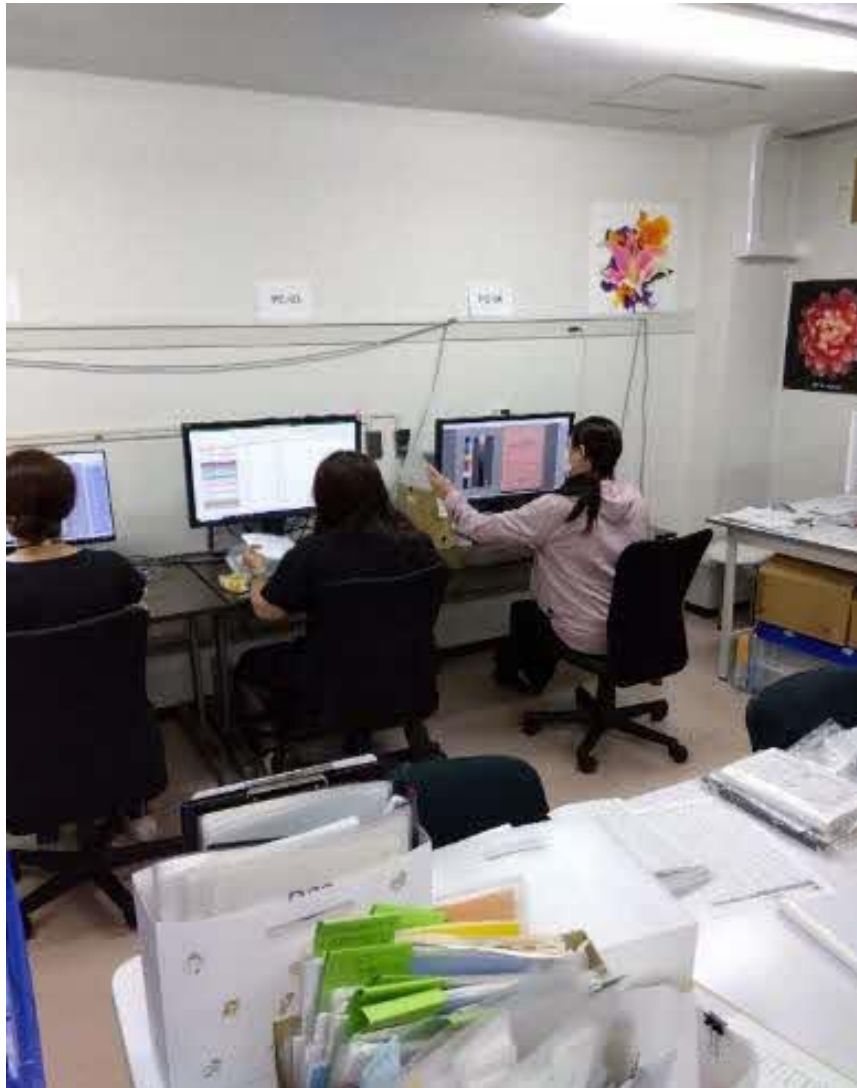
スキャンニングの利用者紹介①

業務作業メイン：1時間工賃@100円

性別：男性	年齢：30代	障害名：精神障害・身体障害	就労継続支援B型
作業的側面	健康である。器用ではないが、丁寧で精度を補っている。少し手順が増えると覚えるのに時間が掛かるので、繰り返しの練習や指導が必要。		
精神的側面	真面目で意欲があり、挨拶・返事もできる。質問・確認もできるので就労者としての印象は良い。		
業務作業：13,700円	デジタルスキャンニング：71,000円	10月分合計：84,700円	

書籍等デジタル化事業作業実績（工賃）								
対象期間	2023年10月21日～2023年11月20日							
3793 氏名：	〇〇〇〇							
作業品目	A 単価	納品コマ数	A 小計	B 単価	撮影外①	撮影外②	B 小計	A + B 工賃
スキャンング	10.0	6415	64,150	50.0	66	71	6,850	71,000
作業品目	数量	単価	工賃					
清掃			0					
目次			0					
サムネイル								
運搬			0					
合計			71,000					

画像の品質検査



スキャニングされた画像を
検査基準に基づいて検査し、
検査基準に達していない画
像は必要に応じて再撮影の
指示を出す。

A型利用者1名 1回作業時間：460分
A型利用者のため固定給

目次ページの入力



目次ページの入力とは、目次を一文字ずつ入力する作業ではなく、目次ページを確認し、専用システムで入力する作業

B型作業者4名 1冊10円
作業時間：1箱は約60分

サムネイル作成



目次ページの入力とは、目次を一文字ずつ入力する作業ではなく、目次ページを確認し、専用システムで入力する作業

B型作業者2名 1冊10円
作業時間：100冊で約60分

主な必要設備

1. オーバーヘッド型スキャナ(ブックスキャナ)



日本製スキャナー(A3サイズまで対応)



海外製スキャナー(A2サイズまで対応)

2. 暗室



2, 500mm (W) × 1, 800mm (D) × 2, 150mm (H)、遮光用途、防炎加工有

3. 耐火書庫

外観



内観



7700mm(W)×2,400mm(D)×2,500mm(H)、棚を利用した収容冊数：数約3,000冊
耐火性能：2時間、耐工具防盜性能：15分、耐震性能：震度6強まで

3. 耐火書庫室精密空調機



書庫室内の温湿度を24時間コントロール NDL仕様 温度22°C、湿度55%
温度制御精度：±0.2°C、湿度制御精度：±1.0%

4. 画像検査用PC



画像の検査用PC: モニターの色は定期的にキャリブレーションを実施

2021年度6月により本格始動したデジタル化事業において、国会図書館におけるデジタル化ノウハウを活かした営業展開を2022年度より独自展開。

現在、2023年受注実績として官公庁、民間企業から紙文書・図面等を中心としたデジタル化業務3,500万円程を受注し、国立国会図書館の作業と同時進行しつつ、利用者の新たな職域開拓にチャレンジし続けています。

作業イメージ



お預かりした原稿の一部



不要なホチキスを外した残骸

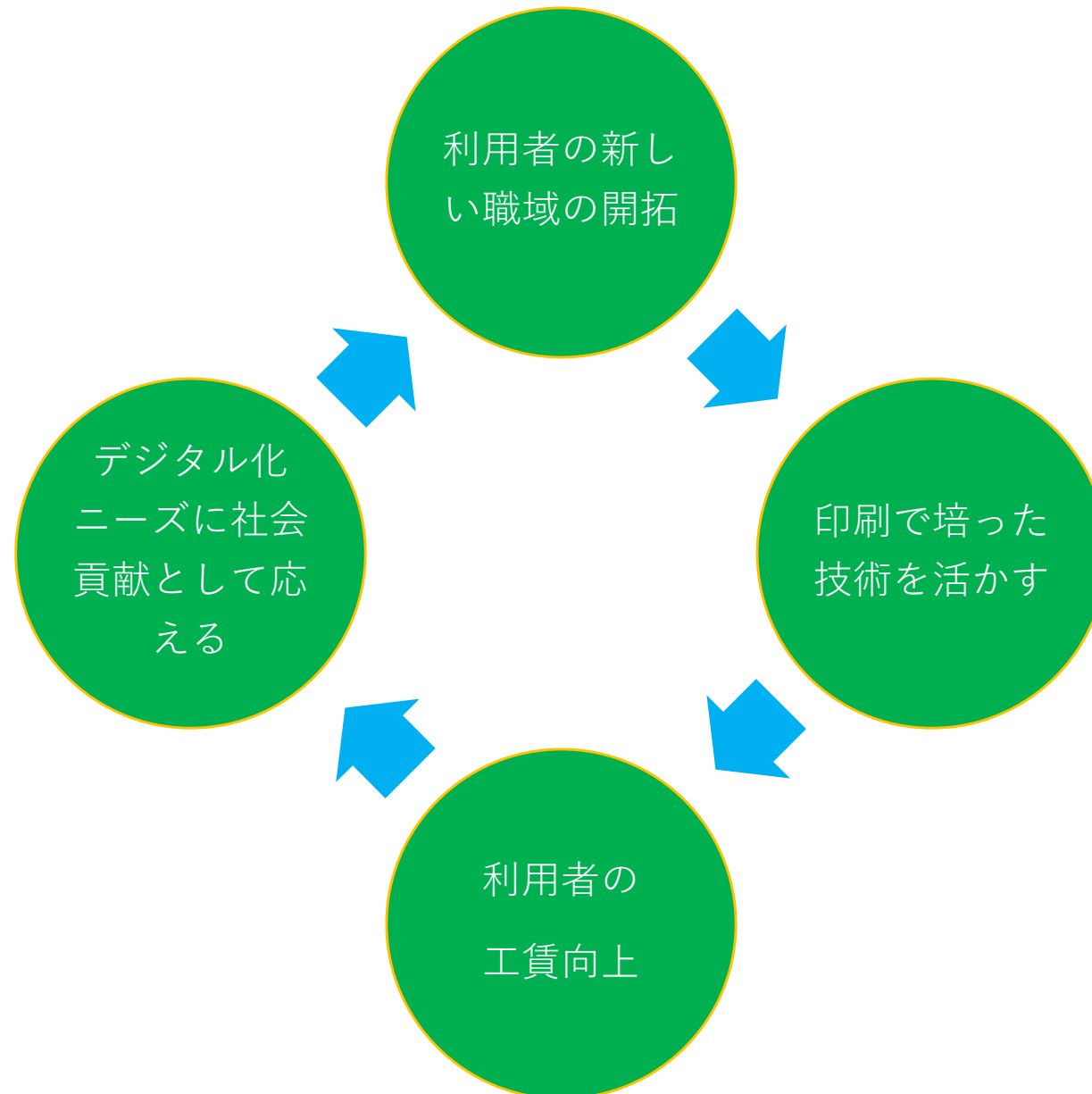


作業の様子



ドキュメントスキャナ

デジタル事業を取り組んだ事でのメリット



ご清聴ありがとうございました